

積極的に行われるべきものであるが、重症度そのものがその施行に影響している可能性が考えられた。

PD-60.

Right gonadal arteries as running behind inferior vena cava

(Department of Anatomy)

○Hayato Terayama, Munekazu Naito, Shogo Hayaishi, Yoichi Nakamura, Takayoshi Miyaki, Masahiro Itoh

The testicular and ovarian arteries usually arise from the anterior wall of the abdominal aorta below the renal artery. Especially, the right arteries pass anterior to the inferior vena cava and run obliquely downward to the gonads. In this study, unusual cases of the right gonadal arteries were observed in two Japanese cadavers, one male and one female. They arose from the abdominal aorta below the origin of the right renal artery and passed posterior to the inferior vena cava. They then run obliquely downward and laterally to reach the pelvic cavity. The left testicular artery arose from the renal artery, while the left ovarian artery arose from the abdominal aorta above the origin of the right ovarian artery. With other variation of the gonadal arteries, the embryologic and clinical aspects of the gonadal arteries passing behind the inferior vena cava are discussed.

PD-61.

Di(2-ethylhexyl)phthalate 投与マウス精巣の生化学的解析

(大学院単位取得・解剖学第一専攻)

○三浦 由美

(解剖学第一)

寺山 隼人、内藤 宗和、北岡 三幸

小茂田文子、伊藤 正裕

ポリ塩化ビニル製造時の可塑剤として汎用されている Di(2-ethylhexyl) phthalate は抗アンドロゲン作用を介した男性生殖器障害 (精巣萎縮)、肝臓のペルオキシソーム増殖および細胞複製作用により肝肥大を誘発させるなど様々な有害作用を有した化学物質であ

り、現在内分泌攪乱物質として問題視されている。先に我々は、Di(2-ethylhexyl)phthalate 2% 含有餌をマウスに自由摂取させた結果、5日目から精子形成障害が起こり始め、15日もすると重度な障害を呈する事を観察している。そこで、本研究はその中間の10日目という Germ Cell がまさに脱落するという期間に焦点を合わせ、精巣、肝臓、腎臓および膵臓に対する影響を検討する目的で、生化学的解析および組織化学的解析を行ったので報告する。

PD-62.

食事療法の疾病進展予防効果およびそれに関連する心理社会的要因についての研究—慢性腎不全に対する低たんぱく食事療法における検討—

(専攻生・衛生学公衆衛生学専攻)

○金澤 良枝

(衛生学公衆衛生学)

大谷由美子、下光 輝一

(腎臓科)

中尾 俊之

【目的】 食事療法の遵守・実行による疾病治療効果の検討と同時に心理社会的要因との関連性を明らかにすることを目的に、慢性腎不全の低たんぱく食事療法についてとりあげ検討した。

【方法】 対象は、食事療法を初回指導後3ヶ月以上経過している慢性腎不全患者65名(男47、女18)、年齢 61.8 ± 10.6 歳。対象者に食事療法の compliance 評価と腎機能低下速度、QOL の評価 (SF-36)、心理的側面の評価 (POMS)、Self-efficacy 調査、Social support 調査を行い食事療法遵守群 (A) の男性群 (A-m)、女性群 (A-f)、非遵守群 (B) の男性群 (B-m)、女性群 (B-f) で比較検討した。

【結果】 A では B に比較し、腎機能低下速度は抑制されていた。SF-36 のスコアは、男女とも両群間に有意差を認めなかった。POMS による気分、感情の主観的側面の評価スコアは、A-m、B-m の両者間に有意差は認めなかった。しかし A-f と B-f では、「抑うつ-落ち込み」が B-f で有意に ($p < 0.05$) 高値であった。Self-efficacy 得点は、A-m では B-m、B-f に比較し有意に高値であった ($p < 0.05$)。また A-f は B-f に比較し有意に高値であった ($p < 0.05$)。Social support は、A-m では B-m、A-f、B-f に比較し有意に高値であった ($p < 0.05$ 、